

令和 5 年度 病院事業決算状況

都道府県名 埼玉県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	循環器・呼吸器病センター	2
-	がんセンター	3
-	小児医療センター	4
-	精神医療センター	5
-	総合リハビリテーションセンター	6
さいたま市	市立病院	7
川口市	医療センター	8
秩父市	秩父市立病院	9
所沢市	市民医療センター	10
東松山市	市民病院	11
春日部市	春日部市立医療センター	12
草加市	草加市立病院	13
越谷市	越谷市立病院	14
蕨市	市立病院	15
小鹿野町	国民健康保険町立小鹿野中央病院	16

病院事業決算状況(令和5年度)		都道府県名	
		埼玉県	
市町村・組合名			
病院名	循環器・呼吸器病センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	7,344,765	
決算規模(千円)	2,059,405,178	
標準財政規模(千円)	1,295,347,443	
財政力指数	0.73078	
経常収支比率(%)	95.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.8
	将来負担比率(%)	151.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	44,111			
1 経常収益	44,111			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	44,111			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	44,111			
2 経常費用	44,111			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	58.7	59.2
材料費	-	-	26.9	26.1
(うち薬品費)	-	-	14.8	14.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	11.1
減価償却費	-	-	8.5	8.5
経費	-	-	21.5	21.3
(うち委託料)	-	-	11.5	11.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	44,111			
(うち支払利息)	44,111	-	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		96.5	95.9
医業収支比率	-		86.0	86.4
修正医業収支比率	-		83.2	83.7
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.5	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	-		13.7	11.5
他会計繰入金対総収益比率	-		11.5	9.8
実質収益対経常費用比率	100.0		85.4	86.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)		都道府県名	
		埼玉県	
市町村・組合名			
病院名	がんセンター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	7,344,765	
決算規模(千円)	2,059,405,178	
標準財政規模(千円)	1,295,347,443	
財政力指数	0.73078	
経常収支比率(%)	95.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.8
	将来負担比率(%)	151.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	161,022			
1 経常収益	161,022			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	161,022			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	161,022			
2 経常費用	161,022			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	58.7	51.4
材料費	-	-	26.9	32.6
(うち薬品費)	-	-	14.8	18.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	13.9
減価償却費	-	-	8.5	7.4
経費	-	-	21.5	16.9
(うち委託料)	-	-	11.5	10.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	161,022			
(うち支払利息)	161,022	-	0.9	0.8
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		96.5	97.6
医業収支比率	-		86.0	91.7
修正医業収支比率	-		83.2	89.8
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.5	7.2
他会計繰入金対医業収益比率	-		13.7	8.1
他会計繰入金対総収益比率	-		11.5	7.2
実質収益対経常費用比率	100.0		85.4	90.5

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)		都道府県名	
		埼玉県	
市町村・組合名			
病院名	小児医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	7,344,765	
決算規模(千円)	2,059,405,178	
標準財政規模(千円)	1,295,347,443	
財政力指数	0.73078	
経常収支比率(%)	95.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.8
	将来負担比率(%)	151.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	141,466			
1 経常収益	141,466			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	141,466			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	141,466			
2 経常費用	141,466			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	58.7	59.2
材料費	-	-	26.9	26.1
(うち薬品費)	-	-	14.8	14.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	11.1
減価償却費	-	-	8.5	8.5
経費	-	-	21.5	21.3
(うち委託料)	-	-	11.5	11.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	141,466			
(うち支払利息)	141,466	-	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		96.5	95.9
医業収支比率	-		86.0	86.4
修正医業収支比率	-		83.2	83.7
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.5	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	-		13.7	11.5
他会計繰入金対総収益比率	-		11.5	9.8
実質収益対経常費用比率	100.0		85.4	86.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)		都道府県名	
		埼玉県	
市町村・組合名			
病院名	精神医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	否
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	7,344,765	
決算規模(千円)	2,059,405,178	
標準財政規模(千円)	1,295,347,443	
財政力指数	0.73078	
経常収支比率(%)	95.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.8
	将来負担比率(%)	151.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	280			
1 経常収益	280			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	280			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	280			
2 経常費用	280			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	58.7	104.5
材料費	-	-	26.9	9.7
(うち薬品費)	-	-	14.8	6.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	1.6
減価償却費	-	-	8.5	12.8
経費	-	-	21.5	34.3
(うち委託料)	-	-	11.5	15.4
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	280			
(うち支払利息)	280	-	0.9	2.2
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		96.5	98.6
医業収支比率	-		86.0	61.2
修正医業収支比率	-		83.2	58.7
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.5	34.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		13.7	57.7
他会計繰入金対総収益比率	-		11.5	33.3
実質収益対経常費用比率	100.0		85.4	64.6

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)			都道府県名
			埼玉県
市町村・組合名			
病院名	総合リハビリテーションセンター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	17,876 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	9	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	13:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	120	72.1	66.1	66.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	120	72.1	66.1	66.4
平均在院日数(一般病床のみ)		48.9	43.1	39.4

設立団体の状況		
人口(人)	7,344,765	
決算規模(千円)	2,059,405,178	
標準財政規模(千円)	1,295,347,443	
財政力指数	0.73078	
経常収支比率(%)	95.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.8
	将来負担比率(%)	151.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,393,417			
1 経常収益	3,380,957			
(1) 医業収益	1,735,946			
(うち修正医業収益)	1,735,946			
入院収益	1,319,422			
外来収益	188,105			
診療収入計	1,507,527			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	228,419			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	1,645,011			
(うち国・都道府県補助金)	57,911			
(うち他会計補助・負担金)	1,283,623			
(うち長期前受金戻入)	296,074			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	12,460			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,330,725			
2 経常費用	3,330,725			
(1) 医業費用	3,213,131			
職員給与費	1,842,105	106.1	58.7	67.7
材料費	230,932	13.3	26.9	18.3
(うち薬品費)	86,549	5.0	14.8	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	107,615	6.2	11.7	9.1
減価償却費	316,730	18.2	8.5	10.3
経費	808,789	46.6	21.5	29.4
(うち委託料)	537,192	30.9	11.5	13.6
研究研修費	11,970			
資産減耗費	2,605			
(2) 医業外費用	117,594			
(うち支払利息)	16,755	1.0	0.9	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	50,232			
純損益	62,692			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.5		96.5	95.4
医業収支比率	54.0		86.0	79.1
修正医業収支比率	54.0		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	38.0		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	73.9		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	37.8		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	63.0		85.4	79.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	6,718,027
1 固定資産	2,914,163
(1) 有形固定資産	2,680,002
(2) 無形固定資産	193,559
(3) 投資その他の資産	40,602
2 流動資産	3,803,864
(1) 現金及び預金	3,475,085
(2) 未収金及び未収収益	322,065
(3) 貸倒引当金()	2,357
(4) 貯蔵品	9,071
3 繰延資産	-
負債合計	4,500,013
1 固定負債	2,344,208
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,372,769
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	971,439
(6) リース債務	-
2 流動負債	793,746
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	211,452
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	127,938
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	437,426
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,362,059
(1) 長期前受金	2,320,326
(2) 長期前受金収益化累計額()	958,267
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,218,014
1 本金	468,114
2 剰余金	1,749,900
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	1,749,900
負債・資本合計	6,718,027
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,274,023	1,283,623
資本勘定繰入	210,190	340,359
計	1,484,213	1,623,982

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)		都道府県名	
		埼玉県	
市町村・組合名	さいたま市		
病院名	市立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透I未訓カ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	66,371 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	30	指定病院の状況	救臨が感災地輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	577	81.3	76.3	73.7
療養	-	-	-	-
結核	20	40.2	56.3	39.2
精神	30	58.8	54.0	53.6
感染症	10	36.8	37.0	39.1
計	637	78.3	74.0	71.2
平均在院日数(一般病床のみ)		11.6	11.6	11.3

設立団体の状況		
人口(人)	1,324,025	
決算規模(千円)	667,562,830	
標準財政規模(千円)	330,447,137	
財政力指数	0.95	
経常収支比率(%)	95.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.3
	将来負担比率(%)	20.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	24,533,235			
1 経常収益	24,166,228			
(1) 医業収益	20,373,033			
(うち修正医業収益)	19,767,413			
入院収益	14,630,500			
外来収益	4,702,800			
診療収入計	19,333,300			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	1,039,733			
(うち他会計負担金)	605,620			
(2) 医業外収益	3,793,195			
(うち国・都道府県補助金)	374,862			
(うち他会計補助・負担金)	2,319,234			
(うち長期前受金戻入)	942,773			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	367,007			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	27,650,533			
2 経常費用	27,002,302			
(1) 医業費用	25,559,002			
職員給与費	12,389,521	60.8	58.7	51.4
材料費	5,665,269	27.8	26.9	32.6
(うち薬品費)	2,807,194	13.8	14.8	18.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,858,075	14.0	11.7	13.9
減価償却費	2,958,022	14.5	8.5	7.4
経費	4,482,476	22.0	21.5	16.9
(うち委託料)	2,861,091	14.0	11.5	10.0
研究研修費	55,786			
資産減耗費	7,928			
(2) 医業外費用	1,443,300			
(うち支払利息)	50,134	0.2	0.9	0.8
(3) 特別損失	648,231			
経常損益	-2,836,074			
純損益	-3,117,298			
累積欠損金	3,146,685			
経常収支比率	89.5		96.5	97.6
医業収支比率	79.7		86.0	91.7
修正医業収支比率	77.3		83.2	89.8
他会計繰入金対経常収益比率	12.1		11.5	7.2
他会計繰入金対医業収益比率	14.4		13.7	8.1
他会計繰入金対総収益比率	11.9		11.5	7.2
実質収益対経常費用比率	78.7		85.4	90.5

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	42,512,680
1 固定資産	34,960,356
(1) 有形固定資産	32,566,148
(2) 無形固定資産	233,397
(3) 投資その他の資産	2,160,811
2 流動資産	7,552,324
(1) 現金及び預金	1,559,112
(2) 未収金及び未収収益	5,856,317
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	130,419
3 繰延資産	-
負債合計	36,471,288
1 固定負債	30,870,887
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	27,315,565
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	3,474,001
(6) リース債務	81,321
2 流動負債	5,033,844
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,944,494
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	832,380
(6) リース債務	490,713
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,754,280
(9) 前受金及び前受収益	55
3 繰延収益	566,557
(1) 長期前受金	4,140,262
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,573,705
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	6,041,392
1 資本金	9,184,827
2 剰余金	-3,143,435
(1) 資本剰余金	3,250
(2) 利益剰余金	-3,146,685
負債・資本合計	42,512,680
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,924,854	2,924,854
資本勘定繰入	1,037,400	1,037,400
計	3,962,254	3,962,254

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	15.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				埼玉県	
市町村・組合名	川口市				
病院名	医療センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	36,984 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	30	指定病院の状況	救臨が 災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	510	76.3	72.2	72.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	510	76.3	72.2	72.0
平均在院日数(一般病床のみ)		9.6	9.9	11.1

設立団体の状況		
人口(人)	594,274	
決算規模(千円)	227,249,962	
標準財政規模(千円)	115,866,185	
財政力指数	0.93	
経常収支比率(%)	98.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.6
	将来負担比率(%)	9.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	18,165,465			
1 経常収益	18,162,817			
(1) 医業収益	16,074,676			
(うち修正医業収益)	15,540,629			
入院収益	11,119,808			
外来収益	4,067,249			
診療収入計	15,187,057			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	887,619			
(うち他会計負担金)	534,047			
(2) 医業外収益	2,088,141			
(うち国・都道府県補助金)	205,047			
(うち他会計補助・負担金)	977,801			
(うち長期前受金戻入)	776,486			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,648			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	19,591,475			
2 経常費用	19,550,927			
(1) 医業費用	18,616,701			
職員給与費	8,919,004	55.5	58.7	51.4
材料費	4,088,072	25.4	26.9	32.6
(うち薬品費)	1,721,054	10.7	14.8	18.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,367,018	14.7	11.7	13.9
減価償却費	1,619,196	10.1	8.5	7.4
経費	3,929,693	24.4	21.5	16.9
(うち委託料)	1,913,960	11.9	11.5	10.0
研究研修費	44,739			
資産減耗費	15,997			
(2) 医業外費用	934,226			
(うち支払利息)	19,838	0.1	0.9	0.8
(3) 特別損失	40,548			
経常損益	-1,388,110			
純損益	-1,426,010			
累積欠損金	2,416,185			
経常収支比率	92.9		96.5	97.6
医業収支比率	86.3		86.0	91.7
修正医業収支比率	83.5		83.2	89.8
他会計繰入金対経常収益比率	8.3		11.5	7.2
他会計繰入金対医業収益比率	9.4		13.7	8.1
他会計繰入金対総収益比率	8.3		11.5	7.2
実質収益対経常費用比率	85.2		85.4	90.5

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	25,374,724
1 固定資産	20,166,095
(1) 有形固定資産	19,867,174
(2) 無形固定資産	5,178
(3) 投資その他の資産	293,743
2 流動資産	5,208,629
(1) 現金及び預金	2,410,216
(2) 未収金及び未収収益	2,715,594
(3) 貸倒引当金()	3,611
(4) 貯蔵品	85,610
3 繰延資産	-
負債合計	15,145,883
1 固定負債	4,165,662
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	615,400
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	3,128,230
(6) リース債務	422,032
2 流動負債	2,334,015
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	80,000
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	631,497
(6) リース債務	203,469
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,414,300
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	8,646,206
(1) 長期前受金	22,291,145
(2) 長期前受金収益化累計額()	13,644,939
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	10,228,841
1 資本金	5,033,237
2 剰余金	5,195,604
(1) 資本剰余金	7,611,789
(2) 利益剰余金	-2,416,185
負債・資本合計	25,374,724
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,281,396	1,511,848
資本勘定繰入	388,152	388,152
計	2,669,548	1,900,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	15.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				埼玉県	
市町村・組合名	秩父市				
病院名	秩父市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	10,567 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	9	指定病院の状況	救臨	輪	
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	165	57.9	55.4	49.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	165	57.9	55.4	49.3
平均在院日数(一般病床のみ)		14.8	14.6	13.6

設立団体の状況		
人口(人)	59,674	
決算規模(千円)	30,730,243	
標準財政規模(千円)	17,472,912	
財政力指数	0.55	
経常収支比率(%)	88.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.5
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,043,975			
1 経常収益	3,043,975			
(1) 医業収益	2,754,133			
(うち修正医業収益)	2,535,657			
入院収益	1,547,119			
外来収益	905,371			
診療収入計	2,452,490			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	301,643			
(うち他会計負担金)	218,476			
(2) 医業外収益	289,842			
(うち国・都道府県補助金)	26,606			
(うち他会計補助・負担金)	180,290			
(うち長期前受金戻入)	36,770			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,041,901			
2 経常費用	3,041,024			
(1) 医業費用	2,933,568			
職員給与費	1,576,846	57.3	58.7	67.7
材料費	484,428	17.6	26.9	18.3
(うち薬品費)	211,905	7.7	14.8	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	250,683	9.1	11.7	9.1
減価償却費	139,603	5.1	8.5	10.3
経費	720,848	26.2	21.5	29.4
(うち委託料)	282,314	10.3	11.5	13.6
研究研修費	8,089			
資産減耗費	3,754			
(2) 医業外費用	107,456			
(うち支払利息)	1,145	-	0.9	1.1
(3) 特別損失	877			
経常損益	2,951			
純損益	2,074			
累積欠損金	329,273			
経常収支比率	100.1		96.5	95.4
医業収支比率	93.9		86.0	79.1
修正医業収支比率	86.4		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	13.1		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	14.5		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	13.1		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	87.0		85.4	79.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	4,042,630
1 固定資産	1,600,132
(1) 有形固定資産	1,581,057
(2) 無形固定資産	2,420
(3) 投資その他の資産	16,655
2 流動資産	2,442,498
(1) 現金及び預金	2,012,051
(2) 未収金及び未収収益	421,165
(3) 貸倒引当金()	6,277
(4) 貯蔵品	15,559
3 繰延資産	-
負債合計	980,795
1 固定負債	142,801
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	142,801
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	293,185
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	35,824
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	115,070
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	142,291
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	544,809
(1) 長期前受金	1,631,405
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,086,596
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	3,061,835
1 資本金	2,829,580
2 剰余金	232,255
(1) 資本剰余金	61,228
(2) 利益剰余金	171,027
負債・資本合計	4,042,630
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	398,766	398,766
資本勘定繰入	44,099	44,099
計	442,865	442,865

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	12.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				埼玉県	
市町村・組合名		所沢市			
病院名		市民医療センター			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	6,246 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	6	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	49	66.6	56.8	53.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	49	66.6	56.8	53.8
平均在院日数(一般病床のみ)		17.9	17.9	16.8

設立団体の状況		
人口(人)	342,464	
決算規模(千円)	124,633,402	
標準財政規模(千円)	64,131,215	
財政力指数	0.94	
経常収支比率(%)	95.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.1
	将来負担比率(%)	0.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,999,682			
1 経常収益	1,999,648			
(1) 医業収益	1,500,375			
(うち修正医業収益)	1,500,375			
入院収益	367,972			
外来収益	619,737			
診療収入計	987,709			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	512,666			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	499,273			
(うち国・都道府県補助金)	15,751			
(うち他会計補助・負担金)	462,346			
(うち長期前受金戻入)	17,886			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	34			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,855,548			
2 経常費用	1,851,796			
(1) 医業費用	1,806,029			
職員給与費	1,012,706	67.5	58.7	89.5
材料費	241,643	16.1	26.9	13.4
(うち薬品費)	140,400	9.4	14.8	7.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	100,934	6.7	11.7	5.5
減価償却費	87,667	5.8	8.5	14.0
経費	460,615	30.7	21.5	46.3
(うち委託料)	292,089	19.5	11.5	22.2
研究研修費	1,840			
資産減耗費	1,558			
(2) 医業外費用	45,767			
(うち支払利息)	110	-	0.9	1.0
(3) 特別損失	3,752			
損益	147,852			
純損益	144,134			
累積欠損金	-			
経常収支比率	108.0		96.5	97.3
医業収支比率	83.1		86.0	60.9
修正医業収支比率	83.1		83.2	56.2
他会計繰入金対経常収益比率	23.1		11.5	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	30.8		13.7	59.4
他会計繰入金対総収益比率	23.1		11.5	35.0
実質収益対経常費用比率	83.0		85.4	63.3

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,865,823
1 固定資産	949,060
(1) 有形固定資産	948,315
(2) 無形固定資産	745
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	916,763
(1) 現金及び預金	681,894
(2) 未収金及び未収収益	231,055
(3) 貸倒引当金()	289
(4) 貯蔵品	4,103
3 繰延資産	-
負債合計	568,284
1 固定負債	190,960
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	182,285
(6) リース債務	8,675
2 流動負債	195,443
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	53,698
(6) リース債務	4,211
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	129,738
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	181,881
(1) 長期前受金	1,121,050
(2) 長期前受金収益化累計額()	939,169
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,297,539
1 資本金	634,632
2 剰余金	662,907
(1) 資本剰余金	115,580
(2) 利益剰余金	547,327
負債・資本合計	1,865,823
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	54,290	462,346
資本勘定繰入	-	-
計	54,290	462,346

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				埼玉県	
市町村・組合名	東松山市				
病院名	市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	13,805 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	12	指定病院の状況	救感輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	134	71.9	77.2	71.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	-	3.7
計	140	69.6	74.5	68.7
平均在院日数(一般病床のみ)		16.0	15.9	14.1

設立団体の状況	
人口(人)	91,791
決算規模(千円)	35,862,086
標準財政規模(千円)	19,581,382
財政力指数	0.80
経常収支比率(%)	94.8
健全化 判断比率	実質赤字比率(%) 連結実質赤字比率(%) 実質公債費比率(%) 将来負担比率(%)
	- - 4.5 18.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,897,703			
1 経常収益	3,897,703			
(1) 医業収益	3,427,098			
(うち修正医業収益)	3,368,290			
入院収益	1,801,302			
外来収益	1,396,582			
診療収入計	3,197,884			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	229,214			
(うち他会計負担金)	58,808			
(2) 医業外収益	470,605			
(うち国・都道府県補助金)	43,260			
(うち他会計補助・負担金)	374,693			
(うち長期前受金戻入)	22,480			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,403,352			
2 経常費用	4,403,352			
(1) 医業費用	4,150,389			
職員給与費	2,092,614	61.1	58.7	67.7
材料費	1,009,174	29.4	26.9	18.3
(うち薬品費)	653,822	19.1	14.8	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	355,352	10.4	11.7	9.1
減価償却費	332,937	9.7	8.5	10.3
経費	702,835	20.5	21.5	29.4
(うち委託料)	384,715	11.2	11.5	13.6
研究研修費	5,683			
資産減耗費	7,146			
(2) 医業外費用	252,963			
(うち支払利息)	10,989	0.3	0.9	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損失	-505,649			
純損失	-505,649			
累積欠損金	2,563,988			
経常収支比率	88.5		96.5	95.4
医業収支比率	82.6		86.0	79.1
修正医業収支比率	81.2		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	11.1		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	12.6		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	11.1		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	78.7		85.4	79.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	6,782,285
1 固定資産	4,409,087
(1) 有形固定資産	4,408,274
(2) 無形固定資産	813
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	2,373,198
(1) 現金及び預金	1,860,656
(2) 未収金及び未収収益	503,624
(3) 貸倒引当金()	2,276
(4) 貯蔵品	10,754
3 繰延資産	-
負債合計	4,545,288
1 固定負債	3,752,854
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,412,140
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	339,346
(6) リース債務	1,368
2 流動負債	592,248
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	182,665
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	139,081
(6) リース債務	2,811
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	258,200
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	200,186
(1) 長期前受金	420,928
(2) 長期前受金収益化累計額()	220,742
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,236,997
1 資本金	4,800,528
2 剰余金	-2,563,531
(1) 資本剰余金	457
(2) 利益剰余金	-2,563,988
負債・資本合計	6,782,285
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	433,501	433,501
資本勘定繰入	96,499	96,499
計	530,000	530,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	74.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				埼玉県	
市町村・組合名	春日部市				
病院名	春日部市立医療センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	33,600 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	27	指定病院の状況	救臨が感 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	361	73.2	71.0	69.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	2	69.1	-	48.6
計	363	73.2	70.6	69.8
平均在院日数(一般病床のみ)		10.6	10.4	10.0

設立団体の状況		
人口(人)	229,792	
決算規模(千円)	93,631,854	
標準財政規模(千円)	47,205,093	
財政力指数	0.71	
経常収支比率(%)	96.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.9
	将来負担比率(%)	25.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,805,729			
1 経常収益	11,764,559			
(1) 医業収益	10,433,276			
(うち修正医業収益)	10,162,025			
入院収益	6,286,188			
外来収益	3,655,961			
診療収入計	9,942,149			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	491,127			
(うち他会計負担金)	271,251			
(2) 医業外収益	1,331,283			
(うち国・都道府県補助金)	130,559			
(うち他会計補助・負担金)	666,550			
(うち長期前受金戻入)	453,706			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	41,170			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,504,270			
2 経常費用	12,456,549			
(1) 医業費用	11,806,137			
職員給与費	5,498,860	52.7	58.7	59.2
材料費	3,365,122	32.3	26.9	26.1
(うち薬品費)	2,227,253	21.3	14.8	14.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,137,869	10.9	11.7	11.1
減価償却費	704,020	6.7	8.5	8.5
経費	2,210,167	21.2	21.5	21.3
(うち委託料)	1,413,655	13.5	11.5	11.7
研究研修費	23,826			
資産減耗費	4,142			
(2) 医業外費用	650,412			
(うち支払利息)	44,327	0.4	0.9	1.0
(3) 特別損失	47,721			
経常損益	-691,990			
純損益	-698,541			
累積欠損金	-			
経常収支比率	94.4		96.5	95.9
医業収支比率	88.4		86.0	86.4
修正医業収支比率	86.1		83.2	83.7
他会計繰入金対経常収益比率	8.0		11.5	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	9.0		13.7	11.5
他会計繰入金対総収益比率	7.9		11.5	9.8
実質収益対経常費用比率	86.9		85.4	86.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	17,626,824
1 固定資産	13,993,955
(1) 有形固定資産	12,976,499
(2) 無形固定資産	2,526
(3) 投資その他の資産	1,014,930
2 流動資産	3,632,869
(1) 現金及び預金	2,033,662
(2) 未収金及び未収収益	1,533,663
(3) 貸倒引当金()	9,161
(4) 貯蔵品	74,705
3 繰延資産	-
負債合計	15,279,572
1 固定負債	8,754,094
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,326,957
(2) その他の企業債	647,197
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	308,032
(6) リース債務	471,908
2 流動負債	2,156,831
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	422,883
(2) その他の企業債	91,903
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	339,779
(6) リース債務	133,010
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,120,403
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,368,647
(1) 長期前受金	8,363,330
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,994,683
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,347,252
1 資本金	922,302
2 剰余金	1,424,950
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	1,424,950
負債・資本合計	17,626,824
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	937,801	937,801
資本勘定繰入	318,060	318,060
計	1,255,861	1,255,861

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				埼玉県	
市町村・組合名	草加市				
病院名	草加市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I 訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	38,431 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	27	指定病院の状況	救臨 災 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	380	67.3	64.6	68.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	380	67.3	64.6	68.7
平均在院日数(一般病床のみ)		9.5	9.4	10.2

設立団体の状況		
人口(人)	248,304	
決算規模(千円)	89,422,886	
標準財政規模(千円)	47,898,622	
財政力指数	0.89	
経常収支比率(%)	99.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.9
	将来負担比率(%)	26.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,884,178			
1 経常収益	12,877,180			
(1) 医業収益	11,170,529			
(うち修正医業収益)	10,634,428			
入院収益	6,724,936			
外来収益	3,777,475			
診療収入計	10,502,411			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	668,118			
(うち他会計負担金)	536,101			
(2) 医業外収益	1,706,651			
(うち国・都道府県補助金)	275,436			
(うち他会計補助・負担金)	813,899			
(うち長期前受金戻入)	541,966			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	6,998			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	13,633,559			
2 経常費用	13,452,295			
(1) 医業費用	12,759,388			
職員給与費	6,088,872	54.5	58.7	59.2
材料費	2,918,608	26.1	26.9	26.1
(うち薬品費)	1,600,441	14.3	14.8	14.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,318,167	11.8	11.7	11.1
減価償却費	907,019	8.1	8.5	8.5
経費	2,800,428	25.1	21.5	21.3
(うち委託料)	1,797,719	16.1	11.5	11.7
研究研修費	30,212			
資産減耗費	14,249			
(2) 医業外費用	692,907			
(うち支払利息)	101,115	0.9	0.9	1.0
(3) 特別損失	181,264			
経常損益	-575,115			
純損益	-749,381			
累積欠損金	618,038			
経常収支比率	95.7		96.5	95.9
医業収支比率	87.5		86.0	86.4
修正医業収支比率	83.3		83.2	83.7
他会計繰入金対経常収益比率	10.5		11.5	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	12.1		13.7	11.5
他会計繰入金対総収益比率	10.5		11.5	9.8
実質収益対経常費用比率	85.7		85.4	86.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	16,136,067
1 固定資産	11,690,046
(1) 有形固定資産	11,669,667
(2) 無形固定資産	1,059
(3) 投資その他の資産	19,320
2 流動資産	4,446,021
(1) 現金及び預金	2,417,847
(2) 未収金及び未収収益	1,853,493
(3) 貸倒引当金()	2,800
(4) 貯蔵品	176,441
3 繰延資産	-
負債合計	13,103,233
1 固定負債	5,434,457
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,532,587
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	899,870
2 流動負債	2,458,627
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	464,372
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	410,000
(6) リース債務	326,853
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,210,567
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,210,149
(1) 長期前受金	14,988,341
(2) 長期前受金収益化累計額()	9,778,192
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	3,032,834
1 本金	2,398,948
2 剰余金	633,886
(1) 資本剰余金	1,251,924
(2) 利益剰余金	-618,038
負債・資本合計	16,136,067
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,464,080	1,350,000
資本勘定繰入	665,713	350,000
計	2,129,793	1,700,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	5.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名 埼玉県
市町村・組合名	越谷市			
病院名	越谷市立病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透未訓カ	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当	
建物面積	32,126 m ²	不採算地区中核病院	非該当	
診療科数	19	指定病院の状況	救臨 輪	
許可公営企業		看護配置	7:1	
DPC対象病院	対象	経営形態	直営	
		類似区分	400床以上～500床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	481	63.6	60.1	58.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	481	63.6	60.1	58.9
平均在院日数(一般病床のみ)		13.0	12.8	12.6

設立団体の状況	
人口(人)	341,621
決算規模(千円)	128,243,470
標準財政規模(千円)	66,594,502
財政力指数	0.87
経常収支比率(%)	92.1
健全化 判断比率	実質赤字比率(%) 連結実質赤字比率(%) 実質公債費比率(%) 将来負担比率(%)
	- - 5.3 0.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,720,040			
1 経常収益	11,307,775			
(1) 医業収益	9,984,398			
(うち修正医業収益)	9,434,398			
入院収益	6,503,971			
外来収益	2,761,643			
診療収入計	9,265,614			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	718,784			
(うち他会計負担金)	550,000			
(2) 医業外収益	1,323,377			
(うち国・都道府県補助金)	369,368			
(うち他会計補助・負担金)	801,000			
(うち長期前受金戻入)	70,760			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	412,265			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,392,246			
2 経常費用	12,386,034			
(1) 医業費用	12,302,201			
職員給与費	6,539,752	65.5	58.7	55.7
材料費	2,809,990	28.1	26.9	28.9
(うち薬品費)	1,345,944	13.5	14.8	15.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,372,670	13.7	11.7	12.7
減価償却費	737,660	7.4	8.5	7.9
経費	2,176,572	21.8	21.5	18.1
(うち委託料)	1,121,867	11.2	11.5	10.0
研究研修費	23,772			
資産減耗費	14,455			
(2) 医業外費用	83,833			
(うち支払利息)	35,426	0.4	0.9	0.9
(3) 特別損失	6,212			
経常損益	-1,078,259			
純損益	-672,206			
累積欠損金	1,598,786			
経常収支比率	91.3		96.5	97.5
医業収支比率	81.2		86.0	90.0
修正医業収支比率	76.7		83.2	87.2
他会計繰入金対経常収益比率	11.9		11.5	9.6
他会計繰入金対医業収益比率	13.5		13.7	11.0
他会計繰入金対総収益比率	11.5		11.5	9.7
実質収益対経常費用比率	80.4		85.4	88.1

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	8,426,992
1 固定資産	6,825,876
(1) 有形固定資産	6,333,457
(2) 無形固定資産	2,805
(3) 投資その他の資産	489,614
2 流動資産	1,601,116
(1) 現金及び預金	55,509
(2) 未収金及び未収収益	1,423,515
(3) 貸倒引当金()	6,400
(4) 貯蔵品	126,154
3 繰延資産	-
負債合計	3,870,213
1 固定負債	1,496,560
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,314,133
(2) その他の企業債	156,187
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	26,240
2 流動負債	2,207,127
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	711,701
(2) その他の企業債	14,875
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	360,000
(6) リース債務	54,898
(7) 一時借入金	400,000
(8) 未払金及び未払費用	621,218
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	166,526
(1) 長期前受金	1,805,846
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,639,320
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	4,556,779
1 資本金	6,155,565
2 剰余金	-1,598,786
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,598,786
負債・資本合計	8,426,992
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,351,001	1,351,000
資本勘定繰入	463,717	459,000
計	1,814,718	1,810,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	16.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				埼玉県	
市町村・組合名		蕨市			
病院名		市立病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	6,866 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	7	指定病院の状況	救	輸	
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	130	55.4	59.0	56.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	130	55.4	59.0	56.9
平均在院日数(一般病床のみ)		13.3	13.3	12.7

設立団体の状況		
人口(人)	74,283	
決算規模(千円)	30,832,912	
標準財政規模(千円)	15,791,002	
財政力指数	0.82	
経常収支比率(%)	90.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.9
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,656,208			
1 経常収益	2,646,747			
(1) 医業収益	2,568,086			
(うち修正医業収益)	2,327,086			
入院収益	982,586			
外来収益	1,187,412			
診療収入計	2,169,998			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	398,088			
(うち他会計負担金)	241,000			
(2) 医業外収益	78,661			
(うち国・都道府県補助金)	26,797			
(うち他会計補助・負担金)	12,638			
(うち長期前受金戻入)	5,254			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	9,461			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,969,116			
2 経常費用	2,965,966			
(1) 医業費用	2,871,466			
職員給与費	1,746,730	68.0	58.7	67.7
材料費	598,868	23.3	26.9	18.3
(うち薬品費)	402,134	15.7	14.8	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	177,439	6.9	11.7	9.1
減価償却費	133,701	5.2	8.5	10.3
経費	389,232	15.2	21.5	29.4
(うち委託料)	220,612	8.6	11.5	13.6
研究研修費	1,156			
資産減耗費	1,779			
(2) 医業外費用	94,500			
(うち支払利息)	1,470	0.1	0.9	1.1
(3) 特別損失	3,150			
経常損益	-319,219			
純損益	-312,908			
累積欠損金	1,653,662			
経常収支比率	89.2		96.5	95.4
医業収支比率	89.4		86.0	79.1
修正医業収支比率	81.0		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	9.6		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	9.9		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	9.5		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	80.7		85.4	79.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,825,925
1 固定資産	1,042,906
(1) 有形固定資産	1,003,043
(2) 無形固定資産	39,863
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	782,994
(1) 現金及び預金	362,850
(2) 未収金及び未収収益	414,910
(3) 貸倒引当金()	10,243
(4) 貯蔵品	15,477
3 繰延資産	25
負債合計	1,152,804
1 固定負債	812,706
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	114,144
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	650,885
(6) リース債務	47,677
2 流動負債	325,845
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	61,077
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	103,443
(6) リース債務	21,569
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	136,556
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	14,253
(1) 長期前受金	41,828
(2) 長期前受金収益化累計額()	27,575
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	673,121
1 資本金	2,280,796
2 剰余金	-1,607,675
(1) 資本剰余金	13,804
(2) 利益剰余金	-1,621,479
負債・資本合計	1,825,925
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	254,223	253,638
資本勘定繰入	38,905	2,632
計	293,128	256,270

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	64.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				埼玉県	
市町村・組合名	小鹿野町				
病院名	国民健康保険町立小鹿野中央病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	8,475 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	95	45.2	48.6	47.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	95	45.2	48.6	47.2
平均在院日数(一般病床のみ)		23.2	25.5	20.9

設立団体の状況		
人口(人)	10,928	
決算規模(千円)	6,981,172	
標準財政規模(千円)	4,612,070	
財政力指数	0.30	
経常収支比率(%)	86.9	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.2
	将来負担比率(%)	15.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,325,682			
1 経常収益	1,325,682			
(1) 医業収益	1,004,255			
(うち修正医業収益)	974,255			
入院収益	516,462			
外来収益	361,992			
診療収入計	878,454			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	125,801			
(うち他会計負担金)	30,000			
(2) 医業外収益	321,427			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	235,281			
(うち長期前受金戻入)	59,372			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,335,071			
2 経常費用	1,334,456			
(1) 医業費用	1,274,719			
職員給与費	762,773	76.0	58.7	78.7
材料費	101,771	10.1	26.9	14.5
(うち薬品費)	29,771	3.0	14.8	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	59,971	6.0	11.7	6.1
減価償却費	67,078	6.7	8.5	11.8
経費	342,206	34.1	21.5	32.3
(うち委託料)	119,263	11.9	11.5	15.3
研究研修費	632			
資産減耗費	259			
(2) 医業外費用	59,737			
(うち支払利息)	11,326	1.1	0.9	1.1
(3) 特別損失	615			
経常損益	-8,774			
純損益	-9,389			
累積欠損金	1,752,122			
経常収支比率	99.3		96.5	96.4
医業収支比率	78.8		86.0	72.4
修正医業収支比率	76.4		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	20.0		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	26.4		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	20.0		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	79.5		85.4	73.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,303,496
1 固定資産	1,075,058
(1) 有形固定資産	1,075,058
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	228,438
(1) 現金及び預金	58,318
(2) 未収金及び未収収益	164,972
(3) 貸倒引当金()	128
(4) 貯蔵品	5,276
3 繰延資産	-
負債合計	1,069,713
1 固定負債	679,950
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	679,950
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	217,871
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	107,562
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	45,133
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	65,176
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	171,892
(1) 長期前受金	395,002
(2) 長期前受金収益化累計額()	223,110
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	233,783
1 資本金	1,984,633
2 剰余金	-1,750,850
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,750,850
負債・資本合計	1,303,496
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	213,891	265,281
資本勘定繰入	67,196	67,196
計	281,087	332,477

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	174.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。